

日経平均株価

2万9157円95銭

▲34円77銭(前日比)

TOPIX

2075.53

▼2.53(前日比)

2023

5/8

月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL 06-6105-1904



## 3月期決算発表本格化

### 任天堂やトヨタ、関西私鉄に注目



カプコンはモンハン初のスマホゲームに注目

販売が安定する。期待される。業績向上の期待が強い。任天堂は「ザ・スター」のヒットで、売上は大幅に伸びた。トヨタは、自動車販売が好調で、利益も増加している。

2023年5月8日、日経平均株価は前日比34円77銭上昇し、2万9157円95銭となった。TOPIXも前日比2.53銭下落し、2075.53となった。

GW明けでまず注目されるのは9日の任天堂(7974)、10日のカプコン(9697)、12日のスクウェア・エニックス・ホールディングス(9684)と続くゲーム関連企

業だろう。任天堂に關しては「ザ・スター」のヒットで、売上は大幅に伸びた。トヨタは、自動車販売が好調で、利益も増加している。

期待が強い。任天堂は「ザ・スター」のヒットで、売上は大幅に伸びた。トヨタは、自動車販売が好調で、利益も増加している。

### 期待上回る内容なら割安感

5月8日のゴールデンウィーク(GW)明けと共に3月期企業の決算発表が本格化する。既に半導体、電子部品向け切断・研削・研磨装置で世界トップを誇るディスコ(6146)は前期決算が従来予想から上ブレ着地したことを受けて決算発表後に株価が急伸した。8日以降に発表する企業も今期の業績見通しを含めて市場の期待を上回る内容ならば発表後に株価の割安感が高まるだろう。ハイテクはもとより、インバウンドで沸く内需を含め注目企業をピックアップした。

定収益に  
なっているが、A



が10日に発表を控える。前期はロスシア生産終了費用やスワップ評価損などで減益で着地した模様だが、今期は増益予想がコンセンサス。新経営体制での新たな情報発信も期待されている。IR誘致とインバウンドで沸く関西私鉄では京阪ホールディングス(9045)が11日、近鉄グループホールディングス(9041)が15日に発表を予定しており注目したい。

4月第3週の動意銘柄

ロコンドがストップ高

大幅増収益3.6%自社株買い

週明け17日、ロコンド(3558)がストップ高。24年2月期の連結業績について、売上高140億円(前期比33.8%増)営業利益17億5000万円(同76.5%増)と大幅増収増益を見込み、発行済み株式総数の3.59%にあたる40万株、5億円を上限とする自社株買いを実施する

ヨシムラ・F・H計画未達

ヨシムラ・フード・ホールディングス(2884)が急落。14日の取引終了後、23年2月期決算を発表、連結営業利益で当初計画の8億3500万円に対して6億7800万円(前期比3.6%増)と計画未達となったことが嫌気された。新たに5件のM&Aを実施したことにより、一時的な費用であるM&A取得関連費用を計上している。

884)が急落。14日の取引終了後、23年2月期決算を発表、連結営業利益で当初計画の8億3500万円に対して6億7800万円(前期比3.6%増)と計画未達となったことが嫌気された。新たに5件のM&Aを実施したことにより、一時的な費用であるM&A取得関連費用を計上している。

ブロッコリはTOB

17日、ブロッコリー(2706)がストップ高。筆頭株主のハピネット(7552)が完全子会社化を目指し度欧株株にTOBを実施することを発表したことを受け、TOB価格1500円にサヤ寄せした。17日から6月13日まで。

正直いいさんの株で大判小判

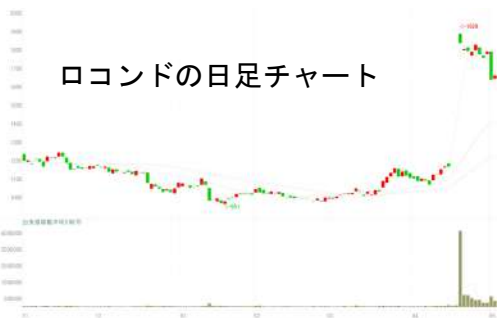
前週の東京市場は4週連続伸びました。日経平均は前週末比301円高で2万9000円台に乗せています。大型連休の谷間で立ち合いが2日しかなく、休場中に米国で重要スケジュールが多いことから様子と見られてもと円安を推した。フェア経営破綻と振らされる連休明け計、ECBの結果を一口气平均は過去1年ス相場をブレインが多少不安定で決算発表ピーク以上がり、米国株が強ければリスクオンの流れが加速しそうです。引続き決算内容と株価の反応を確認しながら買い場を探る考えです。

米株強ければリスクオン



花咲翁

ロコンドの日足チャート



カプコン最新作提供開始

18日、カプコン(9697)が急伸、年初来高値を更新した。「モンスターハンター」シリーズのスマートフォン向け最新モバイルゲーム「Monster Hunter Now」を9月からグローバルで提供開始すると発表した。最先端の位置情報を用いた狩りゲームで、販売拡大と収益貢献を期待した買いが向かった。

置情報技術とAR技術を強みに持つNintendo社が開発。配信を担うモバイルゲームで、販売拡大と収益貢献を期待した買いが向かった。

半導体TSMC設投減額

東京エレクトロン(8035)、レーザードバント(6920)、1テック(6920)、アドバンテスト(6857)など半導体関連が軟調。台湾積体回路製造(TSMC)が23年の設備

セルシートがS高

セルシート(7776)がストップ高。「変形性膝関節症を

Chatwork値上げ

19日、Chatwork(4448)の期待が高まっている。

対象とする同種軟骨細胞シートについて、海外で事業化に向けた取り組みに乗り出すと伝わったことを受け、業容拡大へ期待が高まった。Chatwork「アットワーク」のビジネスプランとエンタープライズプランの利用料金を7月3日から値上げすると発表したことが好感された。利益率向上に伴う収益上振れへの期待が高まっている。



萬世電機の日足チャート



比2倍)へ上方修正  
年間配当を66円か  
ら71円(前の期比  
56円)に引き上げ  
た。企業のデジタル  
化やグリーン投資な  
どの設備投資が好調  
で、売上高、利益と

# 萬世電機ストップ高

23年3月期上振れ配当引上げ

19日、  
萬世電機  
(756  
5)がス  
トップ高。  
23年3  
月期の連  
結業績に  
ついて、  
営業利益  
を7億5  
000万  
円から1  
億円  
(前の期

公開価格の4.5倍

もに予想を上回った  
模様。  
ジェノバの初値  
前日に東証グロ  
ス市場に新規上場し  
たジェノバ(557  
0)が公開価格47  
0円の4.5倍とな  
る2106円で初値  
が生まれた。同社は  
GNS補正情報配  
信サービスなどを行  
う。

## 旅工房GW接近で人気

20日、旅工房(6  
548)がストップ高。  
今年のゴールデンウ  
イークはコロナ禍の  
昨年から一変して旅  
行者数が大幅に伸び  
ることが予想される  
ことからネット専業  
旅行会社の同社が人  
気を集めた。

いちご45%経常減益

いちご(2337)  
が急落。24年2月  
期は経常利益で前期  
比44.7%減の6  
0億円を見込んだこ

公開価格27%上回る

エキサイトHDの初値  
ホールディング  
1)が東証ス  
タンダード市  
場に新規上場  
公開価格13  
40円を26.8%  
上回る1700円で  
初値をつけた。プラ  
ットフォーム、プロ  
ードバンド、SaaS  
・DX事業などを営  
むグループ会社の管  
理と関連業務を行う。

公開価格46%上回る

南海化学の初値  
南海化学(404  
0)が東証スタン  
ダード市場に新規上  
場、公開価格174  
0円を45.6%上  
回る2533円で初  
値をつけた。化学工  
業薬品、農薬、医薬  
部外品と食品添加物  
の製造・販売、産業  
廃棄物の収集、運搬  
と中間処理、塩製造  
加工、販売を行う。

どれだけ時代が変わっても  
“ヒトのチカラ”を  
信じチャレンジを続けます

当社は、企業の根源的なテーマである  
営業・マーケティングの課題解決を通して  
クライアント企業の「収益最大化」にコミットします

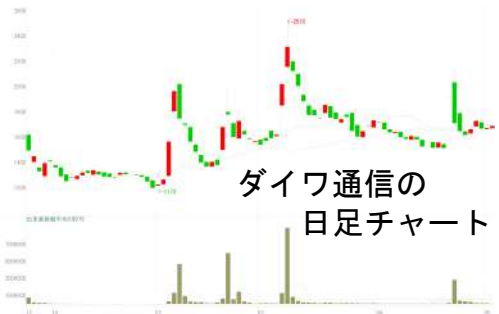
顧客の収益最大化を実現する営業ソリューションプロバイダー

DmMi株式会社ダイレクトマーケティングミックス



東証プライム市場 (証券コード7354)

<https://dmix.co.jp/>



20日、ダイワ通信(7116)がストップ高。ヤマト運輸と同社のAI顔認証送迎バス置き去り防止安全装置Face Roll Call 1について、全国の送迎バス保有事業者への訪問取付を目的とした業務委託契約を結んだと発表したことが好感された。Face Roll Call 1は国土交通省が策定した「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装

# ダイワ通ストツプ高

## ヤマト運輸との提携を好感

置のガイドラインの適合品リストに掲

載されており、ヤマトグループの物流と自動車整備の全国ネットワーク、ノウハウを活用して直接訪問のうえ設置作業を進めていく。

# 半導体製造装置堅調

週末21日、デイスコ(6146)が大幅高で新値を追ったほか、アドバンテス(6857)や東京エレクトロン(8035)、レーザーテック(6920)など半導体製造装置関連が堅調。デイスコは23年3月期の連結決算で、営業利益が計画の103.2億円に対して前の期比20.7%増の1億104万1千300円を上振れ着地したことを好感。米国市場でラムリサーチが13月期決算が好

感され7%超高と急伸、台湾TSMCが売上高予想を減額したが、設備投資計画を据え置いたことも買い安心感を誘った。**A balance ストップ安** Abalance(3856)がストップ安。東証が19日から信用取引について増し担保措置を行うと発表しており、戻りの鈍さに改めて投げ売りが出ているようだ。委託保証金比率を50%以上(うち現金20%以上)としている。

**公開価格33%上回る**

### 楽天銀行の初値

楽天銀行(5838)が東証プライム市場に新規上場、公開価格1400円を32.6%上回る1856円で初値が生まれた。楽天グループのネット専業銀行。

松井証券

今こそ始めるデイトレード

## 松井証券の一日信用取引

手数料 0円 金利・貸株料 0~1.8%

取引  
コスト

プレミアム  
空売り

独自  
サービス

最短3分でお申込み完了!

【無料】新規口座開設はこちら  
marketpress.jpのバナーをクリック



Rettyの日足チャート



# RettyはS高で新値

## 台湾代理店とインバウンド施策

する地方創生・インバウンド施策を展開すると発表した。五福旅行社で訪日旅行者に予約した旅行者に

24日、週明けRetty(7356)が高で新値。台湾大手旅行代理店・五福旅行社と共同で、訪日台湾人旅行者を対象と

4月第4週の動意銘柄

旅行先地域の飲食店情報を提供。第一弾は関西国際空港を利用し、京阪神・瀬戸内地域の宿泊施設を予約した台湾人旅行者を対象に実施する。

### サイバース大量行使

サイバースステップ(3810)がストップ安。2月に発行した行使価額修正条項付新株予約権について4月11日から21日までに大量行使されたと発表した。1870個(発行総

数の31.17%)が600円で行使。

### グッドパチ資本業務提携

グッドパッチ(7351)がストップ高。サイバーエージメント(4751)と資本業務提携すると発表した。サイバースが獲得したDX支援案件に対してUI/UXデザイン支援を提供、共同提案もする。サイバーに新株71万7300株を割り当て約4億9200万円を調達、

## ニデック大商いで急伸

### 今期2.2倍営業増益見込む

25日、ニデック(6594)が大商いで急伸。24日の取引終了後、24年3月期の業績予想を発表、連結売上高で2兆2000億円(前期比1.9%減)、営業利益で2200億

円(同2.19倍)と大幅な増益となることが好感された。「WP-RX」活動による抜本的な収益構造改革を強力に展開しており、固定費の大幅な低減を図り、2023年度のV字

## 相次ぐ米地銀破綻

先週の東京株式市場は4週続伸となりました。注目の植田新日銀金融政策決定会合で当面は量的金融緩和が継続される見通しとなったことで金利低下、円安、株高に反応しました。連休の谷間に日経平均は2万9000円台を回復。

ただし、4月28日から3日連続で寄り付きは上放れスタートとなり三空形成したことで目先の警戒感が台頭。ボリンジャーバンドではプラス2σにタッチしてきており、米連邦公開市場委員会と4月米雇用統計後は一時的に調整局面もあり得ます。

米国ではシリコンバレー銀行に続きファースト・リパブリック銀行が破綻。米連邦預金保険公社管理下に置かれJPモルガン・チェースが買収するという素早い救済が行われることになりましたが、商業用不動産などの信用収縮が他にも波及しないのかどうか今後見ていかねばなりません。

日々勇太郎

転ばぬ先のテクニカル



### Eインフ需給悪化先取り

回復を目指していく。アースインフインティ(7692)が大幅に8日続落。4月30日を基準日として1対3の株式分割を実施するが、分割権利落ち後の需給悪化を先取る動きで処分売りが嵩んでおり、東京証券取引所がこの日から制限値

### 公開価格33%上回る

レオスキャピの初値。レオス・キャピタルワークス(7330)が東証グロース市場に新規上場、公開価格1300円を73.3%上回る1730円で初値が生まれた。同社は投資信託の設定、運用ならびに販売業務・投資顧問業務を行う。

### いなげやプレミア期待

ルディングス(3222)と経営統合することを合意したと発表した。24年1月に経営統合を目指す、イオンが同株の51%相当を取得する方向で、イオンによるTOBも想定され、プレミア期待から買いを集めた。

デザイン採用や人件費などに充てる。サイバーの持株比率は7.88%となる。

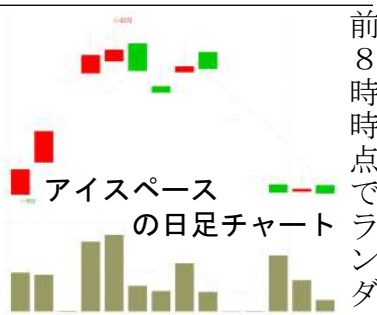
幅を拡大、下限の値幅が4倍になったことから下げ足が加速した。

26日、いなげや(8182)がストップ高。イオン(8267)、ユニテック(7)、ユナイテッド・スパーマード・スーパーマーケット・ホールディングス(3222)と経営統合することを合意したと発表した。24年1月に経営統合を目指す、イオンが同株の51%相当を取得する方向で、イオンによるTOBも想定され、プレミア期待から買いを集めた。

# アイスペーがS安

## 月面着陸困難で失望売り

26日、ispace(9348)ストップ安。民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」ミッション1のランダー(月着陸船)の月面着陸を確認するSuccessの完了が困難と判断したと発表したこと、失望売りが殺到した。26日に月面着陸を予定していたが、同日午



# DPL流山プロジェクト完成

## 大和ハウス工業

### 大規模マルチテナント型物流施設

大和ハウス工業(19)が2016年7月から千葉県流山市で開発を進めてきた物流タウン「DPL流山プロジェクト」が4月28日に4棟目の「DPL流山II」が竣工、プロジェクトが完成した。同プロジェクトは延床面積約32万㎡のDPL流山IVをはじめ、計4棟のマルチテナント型物流施設からなる同社最大の物流タウンで、働き方改革支援として施設内にテナント企業の従業員専用保育施設やドライバーステーション、カフェテリアなどを完備している。免震システムのほか非常用発電機

## 企業レター

### 大和ハウス工業

や防災備蓄倉庫、マンホールトイレを設けるなど防災にも配慮。流山市と災害協定を結び地域の子ども食堂と連携するなど、地域との共生にも取り組む。都心から25km圏内で常磐自動車道「流山インターチェンジ」から約2.5km、首都高速6号三郷線「常磐自動車道三郷インターチェンジ」から約6.6kmと首都圏から東日本全域までアクセスは良好。入居するテナント企業は首都圏向け物流の集約拠点や中継物流施設としてだけでなく、世界からの輸出入に対応できる次世代物流施設としても利用されている。

1との通信の回復が見込まれず、最終的に月面へハードランディングした可能性が高いという。

### 雪印メグメグ上方修正

雪印メグミルク(270)が大幅に5日続伸。23年3月期の業績予想について、連結売上高で5800億円から5840億円(前期比4.6%増)へ、営業利益で110億円から130億円(同28.0%減)へ上方修正した。売上高が予想より増加した

## アドテストは大幅減益

27日、アドバンテスト(6857)が急落。23年3月期の連結決算は営業利益1676億円(8700万円(前の期比46.2%増)と大幅増益で着地したが、24年3月期は1050億円(前期比34%減)を大幅

ことに加え、原材料とエネルギー価格の上昇幅が想定よりも下回った。

昇幅が想定よりも下回った。

減益を見込んだ。半導体メーカーの在庫・生産調整の影響を考慮して慎重に見積もったが、市場予測を大きく上回る減益予想がネガティブインパクトになった。

### サイバートラ成長加速

サイバートラスト(4498)がストップ高。23年3月期連結決算は営業利益10億5300万円(前の期比21.3%増)で着地、24年3月期は14億円(前期比32.9%増)と前期を上回る大幅増益を予想した。主力の認証・セキュリティ

ティサービスが堅調に推移、Linux/OSやIoTサービスが伸び成長が加速する。

### 公開価格の2.5倍

リッジアイの初値前日に東証グロース市場に新規上場したRidge Eye(5572)が公開価格1750円の2.5倍となる4452円で初値をつけた。AI・ディープラーニング技術のコサルディングと開発、共同事業、ライセンス、保守モデル、自社開発などによるプロダクト、人工衛星データを活用したAI解析ソリューションの提供を行う。

### 三井E&S黒字へ上方修正

週末28日、三井E&S(7003)が一段高。23年3月期の業績予想について、売上高で2400億円から2600億円(前年同期比55.1%減)へ、営業利益で10

億円から90億円(前期100億2900万円の赤字)へ上方修正した。グループのエンジニアリング事業で建設中のインドネシア向け火力発電所土木建築工事について採算確定から利益を計上した。

# ～決算情報～

## あじかん

### 23年3月期業績を上方修正 コスト削減効果と長期為替予約も

あじかん（2907）は23年3月期の業績予想について連結売上高で従来予想の470億円から474億円（前の期比4.6%増）へ、営業損益で5000万円の赤字から9000万円の黒字（前の期5億6000万円の黒字）へ、純利益で1億5000万円から2億6500万円（前の期比58.3%減）へ上方修正した。主要原材料である鶏卵の価格が過去に類を見ない鳥インフルエンザの影響から当初予想を大幅に上回る高値で推移しており、売価改定では吸収できず、特に第4四半期以降の業績を大きく圧迫している。こうした状況の中で、徹底したコスト削減を推進し、原材料価格高騰に伴う棚卸資産の増加などが影響。これに加えて、長期為替予約の時価評価などの影響も利益の増加をもたらした。

## ハリマ化成グループ

### 今期17%営業増益見込む 海外粘接着剤用樹脂復調し円安も

ハリマ化成グループ（4410）は24年3月期の連結業績について、売上高1055億（前期比11.6%増）、営業利益20億円（同17.2%増）、最終利益17億円（同91.9%増）を予想した。「海外でローターの粘接着剤用樹脂が前第4四半期の失速から復調し、円安も売り上げを押し上げる」（金城照夫専務兼専務執行役員）見通しで、増収効果により収益も回復。前期に工場撤去費用や訴訟損失引当金を計上していたことから最終段階の増益幅が広がる。年間配当42円を継続。23年3月期は原燃料高が打撃になり、売上高945億1000万円（前の期比24.2%増）、営業利益17億600万円（同47.5%減）、最終利益8億8500万円（同49.3%減）と計画を下回って着地した。



28日、マキタ（6586）が急伸し、年初来高値を更新した。24年3月期の業績予想を発表、連結営業利益で前期比94.7%増の550億円と大幅な増益を見込んだ。バッテリーの充放電とモーター技術の強化して製品のクオリティを高めることで需要を開拓。同時に上限310万株（発行済株式総数に対する割合は10.14%）の自社株

**マキタが急伸し新値**  
95%営業増益で自社株買い

### 遠藤照明中計目標引上げ

遠藤照明（932）が5月第1週の動き銘柄

5月第1週の動き銘柄

週明け1日、遠藤照明（932）がストップ高。2025年3月期までを対象期間とする中期経営計画の修正が発表された。材料視された。連結売上高は491億円で、営業利益は22億8700万円を計上した。が、通期予想は40億円の減損を必要としている。コロナ禍からの需要回復に加え、電気料金の高騰やサステナ

式取得枠の設定した。Vコマース下方修正（2491）がストップ安。23年12月期の業績予想について、連結売上高で362億円から291億円（前期比18.5%減）へ、営業利益で70億円から47億円（同43.0%減）へ下方修正した。成果報酬型広告「アフイリエイト」について、主に金融分野の広告主の投稿方針変更及び広告予算抑制に伴い広告出稿が減少している。

M&A総研下期慎重

M&A総研ホールディングス（955）が急落。23年9月期の第2四半期累計（10〜3月）決算を発表、連結営業利益で22億8700万円を計上した。が、通期予想は40億円の減損を必要としている。コロナ禍からの需要回復に加え、電気料金の高騰やサステナ







# 家と人生の プロがいる。

相続、介護、転職など人生の転機は、住まいの転機です。

そんなとき、大和ハウスは住まいのプロとしてはもちろん、  
1人1人の人生、1つ1つの家族の人生にまで  
寄り添えるプロでありたい。

お客様が住まいと接点をお持ちになったところから  
長く一緒に歩んでいきます。

人・街・暮らしの  
価値共創グループ  
だからこそその総合力

創業60年。180万戸を  
超える供給実績と、  
幅広い提案。

多分野の  
専門家による  
360° チームケア

税理士・司法書士など  
多くの分野の専門家と  
連携。

エンドレス  
サポート

お客さまを最もよく知る  
パートナーとして  
末長くそばに。



住みかえは大和ハウスグループで

# Livness

[リブネス]

大和ハウス工業株式会社 日本住宅流通株式会社 大和ハウスリフォーム株式会社 大和ハウス賃貸リフォーム株式会社 株式会社コスモイニシア 大和リビングマネジメント株式会社 大和ライフネクスト株式会社 株式会社デザインアーク



大和ハウス工業株式会社〈不動産ストック事業〉  
www.daiwahouse.co.jp

0120-413-109

東京本社 リブネス事業推進部  
東京都千代田区蔵田橋3丁目13番1号 〒102-8112  
Tel 03-5214-2424

本社 リブネス事業推進部  
大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241  
Tel 06-6225-7838

リブネス 検索



## 潮流

## 円安・株高に弾み付く

## 日銀の大規模緩和維持が刺激



日銀は4月28日の金融政策決定会合で現行の大規模な金融緩和の維持を決

うかで区別される。キャリーの最大の特徴は実際に利上げや利下げが決定するまで、金融政策に関する憶測にはあまり反応しないことだ。じっくりと利息収入を積み重ねるキャリー投資家にとって、日銀がレビ

めた。

市場金利全体を操作する「イールドカーブ・コントロール（YCC）」も続ける。この発表を受けて「円売り・225先物買い」のプログラム売買が継続して入り、日経平均は398円（1.40%）高の2万8856円と年初来高値を更新した。

為替市場では円売りが膨らみ、一時1ドル＝136円85銭と日銀の結果発表前から2円超円安が進んだ。日米の金利差を享受できるように円を売り持ちにする「円キャリー投資家」には追い風となった。

日銀は過去四半世紀の金融緩和について、1年～1年半程度の期間をかけて検証をする「レビュー」の実施も決めた。植田日銀総裁は「もう少し辛抱して緩和を続けたい」と述べた。市場では「少なくとも1年は利上げが決まることはない」との受け止めが広がり、これが円キャリーに弾みをつけた。

円キャリーの最もシンプルな方法は、ドルなどを買い持ちにして、得た外貨を先物市場で売り買いする「為替スワップ」を活用するものだ。その結果、利息に相当する「スワップポイント」を受け取れる。為替差益だけを狙う円の売り持ちとは見た目は同じだが、持ち高をかなり長い間維持する



るかど

にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2022年1月の夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>



岡山憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール  
1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の中から優勝。2002年

ューに1年以上かけると決めたことは有利だ。ただ、レビューの結論を出す前に日銀が政策修正に動く可能性も否定できない。植田総裁は今後の金融政策運営に関するレビューを実施している期間中でも「議論して必要があれば政策変更を実行していくスタンス」と述べている。

ただ、キャリー投資家は、日銀が利上げさえしなければ、相手通貨の動きだけに注目すればいいことになる。対ユーロでは1ユーロ＝149円50銭近辺と8年4カ月ぶりの円安・ユーロ高。スイスフランに対しては1フラン＝151円台半ばと過去最安値圏だ。米国が仮に利下げを迫られても、ユーロ圏や英国、オセアニア、アジアの一部など高金利通貨の選択肢が多い状況は変わらない。

潮流銘柄はサッポロホールディングス（2501）、京成電鉄（9009）、鹿島建設（1812）。

高金利通貨の選択肢多い

# 変化し始めた日本

## 中期上昇も目先は過熱感

今週の日経平均は前週末比約301円高と4週連続で上昇した。昨年8月の高値も抜いてきており、3万円台が見えてきた形だ。

3月には米国の地銀が3行も破綻するなど金融不安が広がったが、早急な対応で過度の不安は後退している。ただ、世界的な金利上昇は続いており、今後このような金融機関の破綻が続く可能性はある。特にインフレが進む欧州の銀行や規制が緩いシャドローバンク

の突然死がないとも限らない。最近ではネットでのお金の出し入れが簡単のため、悪い噂がSNSなどで広がるとすぐにネットで資金を移動されてしまい、破綻に陥るケースが多いらしい。当局が対応を検討している間に事態は急速に悪化しているということだ。噂程度の情報でも十分注意が必要である。

金利が上昇、賃金の上昇など。コロナが落ち着きを見せた途端、色んな事が変化し始めた。外国人観光客も規制をかけていても増加、しかも従来の王道の観光地以外にも漫画の「聖地巡礼」など地方にも広がりを見せ始めている。

コロナ禍で家で日本のアニメを見て日本に興味を持つ外国人がいかにか多いか驚かされる。きっかけはアニメでも酒でも和牛でもなんでもいいが、日本に興味を持つ人が増加しているのは間違いないだろう。

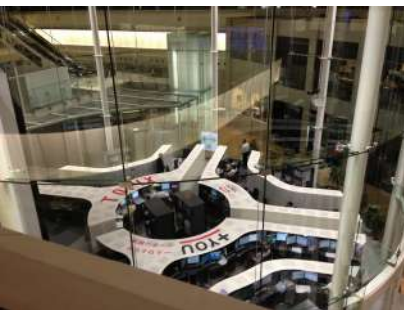
東証が発表した「PBR1倍割れ企業の是正」も海外投資家には日本の証券市場が変わりつつあると思わせる効果は大きいと思う。海外投資家は「変化」を好む。コロナ後は日本はスピードは遅いが間違いない変化は起きている。変化が続いているうちは株価は期待できよう。



### 敏腕先物ディーラー ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール  
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



日本の証券市場が変わりつつある

ドル円の日足チャート



期待できよう。執筆時では5月FOMCやECB理事会の結果はわからないが、アメリカノマリーから型連休の後

は上昇する。中期スタンスは上昇とされるが、来週は5月SQ週でもある。騰落レシオは138%、RSIが80%と過熱感を示している。14日からボリンジャーバンドの拡大する+2σ(2万9320円処)を上値抵抗線として上昇してきている。この+2σを抜いてくれば高値波乱も警戒したい。下値メドは28日の窓埋め(2万8879円24銭)、27日の窓埋め(2万8459円73銭)があげられよう。来週のレンジは2万8500円〜2万9500円を想定する。(ハチロク)

日経225先物の日足チャート







転嫁で増益となった企業も多いが、業種によっては価格転嫁も限界に来て苦境に立たされる企業もできそうだ。



な店を探ささう。決算発表では価格転嫁で増益となった企業も多いが、業種によっては価格転嫁も限界に来て苦境に立たされる企業もできそうだ。

を要請しているが、零細企業の筆者には賃上げなんて無縁の世界。

昨年からの値上げが続き、数年前の値上げが特別に数年前なら特価で100円以下で買えたカップヌードルも今や贅沢品になってしまった。直近では筆者が月に一回通っていた理髪店が500円もの大幅値上げとなり、年間だと6000円もの負担増になり驚いってしまった。岸田政権は物価高に対応すべく賃上げを要請しているが、零細企業の筆者には賃上げなんて無縁の世界。



## 星野三太郎の株街往来

～値上げも限界に来る?～

## New product

### パナソニック 映像をワイヤレスで転送 「プライベート・ビエラ」の新製品



プライベート・ビエラ

パナソニック ホールディングス（6752）傘下のパナソニックは、ポータブルテレビ「プライベート・ビエラ」の新製品UN-10L12を5月19日より発売する。

モニター部とチューナー部がセットになった商品で、チューナー部にアンテナ線をつなげば、モニター部に映像をワイヤレスで転送するので、アンテナ線がない部屋やアンテナ線が届かずテレビを設置できなかった場所でもコンテンツを視聴できる。さらに、別売のUSBハードディスクを接続すれば録画した番組を楽しむことができるほか、お部屋ジャンプリンクでリビングのディーガに録画した番組を別室で楽しむことも可能。

### キリンビール ジョニー黒の限定デザイン 父の日に向け数量限定発売



キリンホールディングス（2503）グループのキリンビールは、ディアジオ社（英国）が所有する、世界No.1スコッチウイスキーブランド「ジョニーウォーカー」から、「ジョニーウォーカー ブラックラベル」12年 2023年 限定デザイン」を父の日へ向けて5月16日から数量限定で全国発売する。

「ジョニーウォーカー」シリーズであることが一目でわかる四角いパッケージに斜めラベルを模したデザインを継承。若年層を中心に“大事な人や仲間たちにウイスキーを贈る”カジュアルギフト需要を新たに喚起する目的で、ボトルにはデジタルメッセージを贈ることができる2次元バーコードを配した。音声もしくはテキストで、大切な相手へウイスキーとともにメッセージを贈ることができる。

## 町田健登の ワールドマーケットナビ



今年3月以降、米国のシリコンバレー銀行破綻やクレディスイスの財務危機、リーマンショック後最大規模になる米国のフアース

トリップ、ブリック、ク銀行の破綻など、欧米を中心とする急速な利



### フィリピンの首都マニラ

中、株を買った方は、一気に資産を増やす大チャンスになりました。

一方で、今回はどうなるのか。コロナ渦で疲



リーマンショックを克服し右肩上がりの上昇

# 世界金融危機で 穴場の市場は？

## 東洋の真珠「フィリピン」



町田健登氏(ライフソフト合同会社代表のプロフィール) 筑波大学卒業後、外資企業営業職を経て人材派遣会社のフィリピン駐在員。現地日系フィリピン金融ホールディングスの役員に就任。31歳で無借金、純資産1億円を達成。2020年、ライフソフト合同会社を立ち上げ独立。現在は、ファイナンシャルプランナーとして活躍するほか、在日フィリピン商工会議所理事、大妻女子大学 大妻マネジメントアカデミー 講師など社会面・教育面でも活躍。「フィリピン投資入門」「フィリピン株を推すこれだけの理由」を出版。アイアンマンレース完走やキリマンジャロ山登頂など、冒険家としても活躍する。

上げに端を発して、銀行が破綻するという金融不安が高まっています。日米ともに世界の主要指数は高値圏を維持していますが、今後の金融当局の舵取り次第ではかつてのリーマンショック以来の金融危機になる可能性があります。ゼロではなく、地雷原を歩いていくような先の読めない相場展開へ入っています。

急落となれば、逆に財務面で何ら不安がない優良株の大バーゲンセールが近いととれるかもしれません。実際、2008年にリーマンショックが発生した際は、米国株を含め世界中の株価が大きく下落。世界がパニックになる

中、株を買った方は、一気に資産を増やす大チャンスになりました。一方で、今回はどうなるのか。コロナ渦で疲

次回なぜ、いまフィリピンなのか？どうして、世界経済が不景気の中、経済成長が続くのか、より詳しく見

弊した後の競争による物価上昇。米国企業が物価上昇を克服して景気が通常の状態に回復するには、あと2年以上かかるという報道もあります。これに加えて米国では債務上限問題が再燃しており、上限の引き上げなどで民主共和両党が合意できない場合、6月にもデフォルト(債務不履行)の可能性がでてきています。リーマンショックが再来すれば資産を増やすチャンスになるかも知れませんが、そんな大波乱を待たずとも確実に価値の上がる安全なマーケットに投資したいという方は多いと思います。そんな方には、「フィリピン株式投資」が大穴の万馬券になるかも知れません。なぜなら、フィリピン経済は2022年、世界各国が不景

